

2020年9月号

ひまわりだより

放課後等デイサービス

ひまわり

TEL:072-623-5511

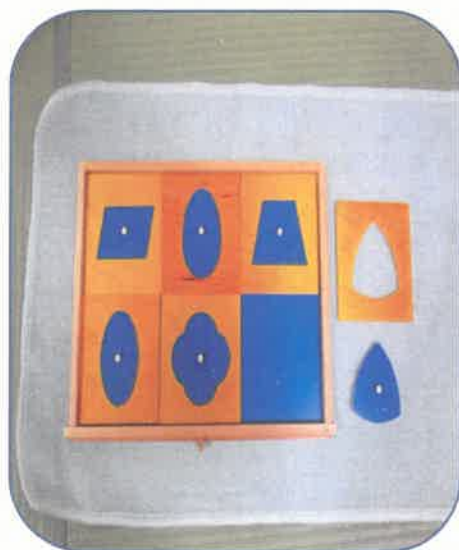
FAX:072-623-5550

今年は、あっという間に子ども達の夏休みが終わってしまいましたが、いかがお過ごしでしょうか。ひまわりではコロナウイルス感染予防のため、例年のおでかけやクッキングイベントを中止にして、室内イベントや制作活動を多く楽しめるような予定を用意いたしました。



室内で行った夏祭りイベントでは、お店の看板から自分たちで作りました。看板一つ作るにも、自分のイメージするお店の絵を描いたり、どんな絵であれば人に伝わりやすいか考えたり、お友達と話し合ったり、それぞれの視点ややり方が見える機会となりました。

～モンテッソーリ お仕事の様子～



幾何たんす：円や三角形、四角形、多角形、様々な幾何の形とその外枠の板が30組、それぞれ分類されて、たんすの引き出しに入っていて、形を手で触り、触覚と視覚、聴覚を使い、その名前を覚えます。始めに、形と名前を紹介されると、色々なゲームに発展させながら、記憶を定着させていきます。例えば、2枚の絨毯を少し離れたところに敷いて、片方の絨毯に、6枚の外枠、もう片方に、中の幾何の形を18枚置いて、外枠の中に、ぴったりはまる幾何の形を探して来て、はめ込み、名前を確認していくゲームは、グループでも楽しめます。

～活動の様子～



幾何たんすを使ったゲームでは、離れた場所に置いてある形の特徴と枠の形を意識して探していきます。色々な形を知ったり、似た形の大きさや細かな差を探したりする経験が文字を把握する力にもつながっていきます☆



トイレトペーパーを使った紙粘土作りでは、水のり、色水を混ぜて自分の好きな形を作りました。好きな色を作るため色水の量を調整したり、材料をこねることに集中して踏ん張って力を入れたり、それぞれが思い思いの部分に集中して取り組みました。



おままごとの食べ物や調理器具を分類して楽しみました。分類するには物の共通点や相違点を見た目や用途、知識の中から見つけ出していくことが必要になってきます。また、誰かがしていると「俺もする！」と真似を始めたり、「これとこれは一緒じゃないん？」と話しながら新しい視点を共有したりして、それぞれの遊びに幅がでできます♪